

THE HEAVENLY SPHERES

Character of Residents in Each and Their Occupations.

By

Martha Washington through Mrs. J. Upham Hendee

【作品情報】

『THE HEAVENLY SPHERES

Character of Residents in Each and
Their Occupations.』(1877)

Martha Washington through

Mrs. J. Upham Hendee 著

【著作権について】

本作品の原文は、著作権保護期間が満了している
(パブリックドメイン)と判断される資料に基づいて
います。

【翻訳について】

本日本語訳は、公開者本人による独自翻訳です。
既存の翻訳や他者の著作物は一切使用していま
せん。

【注意事項】

万が一、著作権等に問題がある場合は、速やかに対応(修正・削除)いたしますのでご連絡ください。

【翻訳者】

SEIJI

【免責事項】

本翻訳は個人による学術・研究・情報提供を目的としたものです。内容の正確性・完全性について保証するものではありません。

本翻訳の著作権は翻訳者に帰属します。無断転載はご遠慮ください。

2026/3/30

序文

過去四年間にわたって私が霊界から受け取った何百もの通信の中で、この通信ほど、これまで知られていなかったあの世界について、広く一般的な知識と興味を与えてくれるものは、おそらく他にありません。

この通信は、その夫が今なお「我が国の父」と呼ばれている人物の妻から送られてきたものです。二人とも今では、より進歩した生命の世界にいる天使となっているのですから、この通信は国家的な関心事となるのです。

私はこれを何度も何度も読み返しました。そして、これは個人の所有物としてこれ以上しまっておくには、あまりにも貴重なメッセージであると思うようになりました。そこで私はこれを印刷に付すことにし

ました。そうすれば、わずかな代価で、すべての人が、人間の運命について、これまで私の知る限り地上にもたらされたことのないほど多くを学ぶことができるからです。

この通信は、カリフォルニア州サンフランシスコの Mrs. Upham Hendee のミディアムシップを用いて、Martha Washington によって書かれました。これは 1876 年に始められ、異なる複数回の交霊会で、部分ごとに書かれ、1877 年 1 月まで続きました。

前書きは、八つの章が書かれた後の交霊会で書かれました。そしてそのすべては、私の目の前で書かれたのです。それぞれの章は、私が自宅へ持ち帰りました。印刷所に渡すまで、どれ一つとして私の手を離れたことはありませんでした。

T. B. CLARKE

注記

このメッセージのための交霊会の間、また Mary Washington のさらに長い通信の時と同様に、天上の大群がそこにいるように見えました。

それぞれの筆記と、そのメッセージに関する説明の後で、ミディアムは支配を受け、さまざまな話題について話したり、書いたりしました。ある時には、革命時代の十人の古い人物たちが、それぞれ短い言葉を書き、その名前に署名しました。その署名は、地上にいた時の署名と、ほとんど見分けがつかないほど似ていました——その中には、Stephen Hopkins の震える手による署名もありました。

ある時には、一人の親しい友人が——亡くなっただけからほんの数日しか経っていなかったのですが——やって来て、こう叫びました。「ああ、Thomas、

Thomas、あなたに書いているあの方は、なんと美しい女性なのでしょう。そして、それはすべて真実です。しかも、あなたが思っている以上に真実なのです。」

ほんの数日前、私たちが、秋の落ち葉と涙の中で、彼女を冷たい墓の中へ葬った時から、なんという変化でしょう。

前書き

私は、天上の住まいから来ました。そして、誠実で真剣な人々の心を呼び覚まそうとしています。もし人々がもっと完全に神を信頼し、神が自分たちに印象という形で示してくださる御心を受け入れ、昔の聖書の教えに書かれているように聖霊に逆らわないならば、彼らを正しい道へ導くはずの、神から授けられた内なる原理に、自分の魂のすべてをゆだねるようにと。

聖霊とは、真の神の霊です。それは、人間の人生のあらゆる歩みの中で自らを示します。しかし、それは否定され、誤解され、そのために遠ざけられてきました。ナザレの人は、自らの霊についてしばしば語り、その声に耳を傾けるよう使徒たちに勧めました。

ですから、魂の静かな奥深くで、すべてが静まり返った時に語りかけてくる、小さく静かな声に耳を傾けることを学びなさい。それは、内なる心に向かって親しく語りかける声です。人間が神の声を聞き分けることができるのは、もっとも繊細な感覚によってのみなのです。

時には神は、感受性の強い人に語りかけ、その霊が肉体の神経を通して震えることがあります。これらの印象は、魂の言葉です。しばしば、亡くなった人々の霊が、生きている人々の霊に語りかける時、このような印象によって対話します。もしそれらが理解され、それに導かれることを許すならば、それらは真実の導き手であることが分かるでしょう。

霊との交流は長い間否定されてきました。そのため世界は、生命の火花がほとんど消えかけた、冷たく命のない身体のようになってしまいました。しかし、

天使の世界の一致した努力によって、闇と疑いの鎖は、何千もの地上の子供たちから断ち切られ、二つの世界を結ぶ絆は鍛えられて、もはや決して切り離されることのないほど強くなったのです。

やがて、人間の未来の生命についての普遍的な真理は、あまりにも完全に明らかにされるようになり、最も小さき者から最も偉大な者に至るまで、すべての人が神、すなわち無限の叡智を知るようになるでしょう。イエスが「光はまことに世に来た」と言ったように、その光の大きさのすべてが知られるようになるのです。

いったん物質から解放され、自由で独立した存在となり、完全な霊的個性の中に確立されると、私たちは人生の真の状態を学び始めます。私たちは、これまであまりにも強く私たちを縛っていた地上の重い覆いから自由になり、それまでは、自分たちの魂

の住まいの奥深い場所を、ほんのかすかに垣間見ることしかできませんでした。

その時、私たちは、新しい労働と探求の世界における自分の状態を理解し始めます。そして前の人生からは、自分たちの必要と幸福のために役立てることのできるものだけを保つのです。

このようにして、魂の進歩が妨げられることは決してありません。なぜなら、黄金の鎖はなおも時間と永遠を結びつけており、霊がまだ物質の衣をまとっている間も、それをつなぎとめているからです。その鎖は、あらゆる変化を通してその引力を保ち、魂を絶えず上へ上へと、その神聖な魂の故郷へと引き上げているのです。

私たちは、祝福された者たちの住まいである天の家から戻って来ました。そして、この光の福音を世

界に告げ知らせ、人々の未来の住まいについての新しい啓示へと目覚めさせたいという切なる願いを抱いています。

しかし、私たちが来てみると、非常に多くの人々が、迷信の闇、恐れ、疑いの中にいます。そして死後の罰を教える物質的な教義に圧倒され、それを受け入れてしまっています。その結果、人々の魂は縮こまり、本来、天の父が意図したような、豊かな生命を生きることができなくなっているのです。

しかし、地上の子供たちが、神なる父が世界を祝福し、それを受け、楽しむように定められた存在たちを支えるために与えてくださる贈り物を受け入れることを学ぶならば、霊的なことからは、はっきりと、美しく理解できるようになるでしょう。

無限の源から来るすべてのものは美しく、意図され

た用途に完全な調和をもって適しています。これほど長い間、世界を盲目にしてきた闇と不明瞭さは、怒れる神についての教えによってもたらされたのであり、限りない愛をもつ神なる父への、完全で自由な信頼によってもたらされたものではありませんでした。その父の全能の叡智は、すべてのものに生命と自由と成長を与えているのです。

昼の太陽が昇って地上を照らすように、無限なる力の愛もまた、すべてを照らし、生命と、子供のような信頼を与えています。

私たちは、霊的な成長の光景の中で、神の生命、すべてのものの神性、永遠なるものの魂の芽を見ます。そして、すべてのものは、地上の状態に入り、物質的存在という表れた形をまとう時、その表現の形を取る瞬間に、真の原型を持っていたことを知るのです。それによって霊の身体は形作られ、異

なる界層へ向かう準備がなされます。

したがって、すべての原型は、それぞれ別の秩序の中に表され、そのふさわしい状態に分類されなければなりません。

霊と物質という、この二重の神聖な配列こそが、無限のものにも有限のものにも、美しさと崇高さを与えているのです。この法則はあまりにも完全であるため、人間にも神にも、それを変えることはできません。

それは最高の無限性によって刻まれており、すべてのものはその法則に従わなければなりません。それがなければ、すべては混乱となるでしょう。しかしそれがあることによって、すべては、その完全な壮大きさを映し出す大いなる反映の中で、完全な調和となるのです。

私たちは、知性の支配する原理を認めます。あなた方はそれを神、あるいは力を示す姿をまとった無限の叡智と呼ぶかもしれません。私たちは、それが何と呼ばれるかにはこだわりません。ただこれだけは知っています。それが、光と愛と知性の泉であり、秩序と調和を伴った力であり、熱と生命と成長を備えているということ。

私たちは、物質世界、すなわち惑星や星々を見ます。それらは一定の位置を保ち、変わることなく存在しており、すべてが一つの同じ力によって支配されています。そこで私たちはそれを神と呼ぶのです。なぜなら、それはあらゆるものに行き渡っているからであり、そのため神聖なのです。

私たちは、これらの物質的な状態から霊的な状態へと移り、一つまた一つと界層を通り抜け、ついに

は第七の界層に迎え入れられます。そこでは、私たちの進歩を妨げていたすべての物質的条件から解放され、完全な愛と限りない喜びが、完成された魂を待っている、限りなく広い魂の生命の世界へ向かうのです。

これこそが生命の頂点です。それは神の愛の魂の中心であり、そこから永遠の喜びの光が、絶えずあらゆる界層へ向かって広がっています。その世界の空気は、ばら色に染まり、最も美しい音楽が森の小道を通して歌われ、その響き渡る夕べの歌は、魂を喜びで満たす調和を作り出します。そこでは生命の泉が絶えず流れ、永遠の美しさが最高の支配をしています。

友よ、私は感じます。このミディアムを通して走る私の筆では、この祝福された魂の住まいの驚くべき美しさと高みを、あなたの心に十分伝えることはで

きません。

そこでは、夢見るような愛の中で、地上での人生も、霊の世界での人生も、過去のすべてが目の前を通り過ぎてゆきます。そこでは、あなたは知識をさらに増し、昔愛した人々をなお抱きしめることができ、彼らがいつまでもあなたのものであることを知るのです。

また、私たちは子供のように、香り高い花々と芳しい野原の中を、いつまでも歩き回ることができ、疲れることなく、高くそびえる山の頂へ飛び上がって、黄金色の柔らかな雲が浮かぶ青い大空の広がりを見ることが出来ます。それは、魂が永遠の安息を得る、この夏の国の住まいの上を漂っているのです。

私たちは、この通信の手段を通して、存在するすべ

てのものの真の原理を、あなた方に理解してもらおうと努めてきました。そして今、この粗末な形ではありますが、私にとって興味深い、界層での人生の経験を地上の人々に語るこの時を終えなければなりません。

私たちは、霊の国での進歩のさまざまな段階を、あなた方にたどらせてきました。そして、魂の住まいについての私たちの弱く不完全な描写が、まだ肉体の中にいる人々にとって、祝福となることを願っています。

今、親愛なる友よ、私は別れなければなりません。私たちの天上の住まいの短い描写を、あなたの手
に渡した者たち、George Washington、
Mary——彼の愛する母、そして、地上での人生のあらゆる喜びと悲しみを彼と共に分かち合い、今もなお、彼のあらゆる霊的な賜物において結ばれて

いる、彼の魂の伴侶である私から、兄弟愛の祝福を送ります。そして、どうか私たちを、あなたの導き手として親しく呼んでくださるようお願いいたします。

MARTHA WASHINGTON

第一章

人類への大義に忠実である私は、私たちの美しい
霊の住まいについて、真実の姿を描き出そうと努
めます。私が、私の愛する夫や、その尊い母と同じ
ように、あなたの関心を引くことができるかどうか
は、これから与えられるこの通信によって、まだ証
明されなければなりません。

はい、友よ、私たちはあなたの交霊会に来ており、
このメッセージについてあなたに印象を与えていま
す。なぜなら、霊の国での私たちの経験を書き始め
るには、今こそ正しい時であると感じたからです。

*私は George Washington と、その母
Mary の霊界での生活についての通信を持って
います。未発表。T. B. C.

私たちは、あなたがこれまでに多くの描写を読み、それによって私たちの美しい世界についてかなりはっきりした理解を得ていることを知っています。しかし、私が感じるところでは、これから私が述べようとしているものほど、熱意に満ち、描写が徹底しているものはありません。

あなたは、この輝かしい夏の国、すなわち約束と永遠の生命の国からの真の知識を誠実に求めている人です。ですから、私たちは幕を持ち上げ、あなたの前に壮麗な光景を開いて見せようと思います。それは、一度見れば、人間であろうと霊であろうと、決して忘れることのできないものです。

これまでも、この生命の夏の国について語った者は数多くいました。しかし、その驚くべき輝かしい現実について、まるで影のようなぼんやりとしたものしか見ることを許されなかった人ばかりでした。

私たちが最初に、この魅惑的で崇高な国に目覚めた時、私たちは驚きに満たされ、ただ見つめ、叫ぶことしかできませんでした。なぜなら、そこには、神の無限の力による、これほど神聖で崇高な思想と現実が満ちており、私たちは圧倒され、何もできなくなってしまうからです。

しかし、友よ、私は、あなたが言うところの旅行記のようなものを書き始めようとしているのですから、自分の変化をはっきり説明できるようになるまでは、あまり詳しくは述べないことにしましょう。

私は、霊の生命へ移る前から、多くの出来事によって、生命はこの地上を越えて続いているのだという、この驚くべき真理に目覚めていました。それほどまでに、私は、自分の魂、すなわち内なる存在に、一つの知識が与えられているのを感じていました。

私は生き続け、霊的な存在を実際に体験することになる。そして、自分の霊的な生命と調和している者たちと、自分の思いや感情を結び合わせることが許されるのだ、と。

世の人々には、それを理解することができませんでした。なぜなら、私自身も、それをはっきり説明することができなかったからです。しかし、私の魂の中には信頼がありました——私を支える力がいました——私は、それが試練を通り抜けさせてくれ、未来の幸福についての完全な確信を与えてくれると感じていました。その幸福は、より高い状態、より優れた世界についての知識から来るものでした。

なぜなら、私の魂の目には、美しい天使の群れが、そのすべての栄光をまとめて、行き来しているのが見えていたからです。そしてそれによって、天において何かが行われており、それは、これまで教えら

れてきたこと以上に、その輝かしい世界に住む何百万もの者たちを祝福するものなのだと感じていたのです。

そうです。ただ永遠に歌っているだけではありません。すべての魂は、神の普遍的な愛と、その御業のすべてを受け取るように定められており、今こそ、万物の始まりから定められていた、その壮大で輝かしい計画を見る必要があるのです。

こうして、これらの思いは次第に私の魂に巻き付き、ついには地上での人生の一部となり、私を祝福し、すべての人に訪れる変化に備えさせました。そのため、死はもはや恐ろしいものではなくなったのです。

私たちは最初に地上を離れる時、しばしば地上の家を思い出し、友人たちのもとへ戻って、自分たち

の偉大な発見を知らせたいという強い願いを抱きます——この未知の生命、あるいはこの美しい界層からの喜ばしい知らせを伝えたいと願うのです。

なぜなら、それは昔教えられていたような、ぼんやりとして確かでない空想の天国ではないからです。それは、現実には生き、息づいている国であり、植物、動物、霊のすべての生命に満ちています。そして、そのすべてが霊的な美しさの中にあり、神なる創造主の御業を示しているのです。そして、その豊かさは、すべての者のためにあるのです。

誰もが、自分が用いることのできるだけのもの、自分が理解できるだけのものを持っています。そして、すべてを知る神の御心は、この豊かで輝かしい住まいについての知識への飢えを生み出すことにあるので、それぞれの状態にふさわしい者を受け入れるための界層が用意されています。

そこでは、人々は養われ、教育され、この世界のあらゆる用途と、あらゆる祝福を理解できるようになります。そして、次の住まいへ入る準備が整うまで、そうして育てられるのです。

高い界層から来る守護霊たちは、しばしば下の界層に降りて来て、人々を別の界層へ連れて行きます。そして、彼らが準備を整えた時に待っている栄光を見せてくれます。それによって彼らの魂は活気づけられ、進歩し、その先にある美しい住まいへ入るために、あらゆる機会を受け入れようとするのです。

それぞれの界層には、その界層ごとの法則、労働、教育があります。すべての学ぶ者には、その人の好みや能力に合った学びが与えられます。そして、この調和の取れた結び付きによって、人々は、より高

い知識へ、はるかに早く進歩していくのです。

私たちは、地上の人々も、精神や身体の教育を、それぞれにふさわしいものへ適応させるといふ、この霊的な親和の法則を理解し始めていることを知ります。それによって、人類は、かつてのように、すべての心を一つの型に押し込め、その結果、本来得られるはずの成果を損ない、能力を失わせてしまう状態を越え、より高い進歩へと引き上げられているのです。

さて、友よ、私たちはあなたの手を取り、ゆっくりと、美しい道を通して、自由と知識の栄光の神殿へと導きましょう。そこでは、科学と真理が、栄光と不死への大いなる門に、その印を押しているのです。

私の霊は、大気のように軽やかな世界へと飛び立ちました。私は、光のように透き通った存在たちの

上にいるように感じ、言葉にできないほどの、輝かしい内なる喜びを感じました。私は、天使たちと愛する人々の群れに囲まれていましたが、それでも言葉を発することができませんでした。

驚き、感嘆、愛、胸を震わせるような喜びが、私の魂を満たしていました。時には、私は再び地上へ呼び戻されるのではないかと恐れました。なぜなら、大気の状態を通して、なお私をつなぎ止めている絆を感じていたからです。

しかし、私の導き手たちは、私はすでに自由であり、もはや地上の肉体に戻って宿ることはできないのだと告げました。そして、霊の生命の状態を保てるほど十分に強くなり、霊の衣をまとうようになった時に、再び戻ることになるだろうと言ったのです。

そうです、友よ。私たちは、天使たちの手の中にい

る、生まれたばかりの赤子にすぎません。天使たちは、私たちが自分自身の個性を確立できるようになるまで、私たちを守り、導いてくれるのです。

私が十分に成長し、真の靈的法則を理解するようになって以来、私は、人間たちがどうしてこれほどまでに、この美しい世界について、自分たちの本当の状態を見失い、闇の中にいたのか、理解できません。この世界は、その輝かしい永遠の甘美さと、愛に満ちた知識の衣の中に、すべてを包み込んでいるのです。

ここにいる私たちにとっても、また、地上にいるあなた方にとっても苦しいことですが、多くの人々が、自分たちの靈的な故郷からの光を一つも受けることなく、ただ植物のように生きているのを見ることです。なぜなら、彼らはあまりにも鈍くなっていて、自分たちの精神や感覚の生命を理解することがで

きないからです。

第二章

おはようございます、友よ。あなたに楽しいクリスマス。こう言うことで、私は、愛する者たちとの再会が決して忘れることのできない喜びの泉であった、過去の地上での長く大切な思い出へと引き戻されます。

そして、それは私たちの明るい住まいにおいても忘れられてはいません。そこでは私たちは集まり、地上での経験を語り合い、自分たちの地上での人生を満たしたさまざまな出来事について語り合うのです。

ここでの生命は、地上での生命と非常によく似ています。そして、ただ、私たちが今の立場からそれを理解しているという点でのみ異なっています。たとえば、生命は地上と同じように多様です。また、住

人たちも、それぞれ異なる性格を持っています。しかし、それらは、共感の欠如によって不調和な衝突を起こすことなく、調和して結び合うように、さまざまな形で分かれています。

このようにして、天上でも地上でも、それぞれの界層には、その住人たちの必要に合った多様さと状態があります。そして、それぞれの基本的な原理は、それ自体が支える力となっており、外側から来て、内なる魂を強めなければならないのです。

私たちは、あなたに、私たちの愛する住まいへ至る主要な段階を示さなければなりません。そうすることによって、あなたが進歩していくにつれて、私たちがあなたの心に伝えようとしていることを理解できるようになり、また、この神から与えられた住まいの真の姿と、その本当の場所や、それぞれにふさわしい状態について、あなたに深く印象づけることがで

きるからです。

多くの者たちは、その栄光に心を奪われて戻って来たために、この壮大な宇宙の真の状態を、人間に理解できる形では説明することができませんでした。しかし、この神殿は、人の手によって造られたのではなく、その驚くべき、輝かしい展開のすべてにおいて、神聖な原理によって築き上げられたものです。同じように、人間もまた、神なる創造主の驚くべき祝福を実現するために、その栄光に満ちた考えと姿を与えられて発展してきたのです。

そして、すべてのものは、やがて来る時代の中で、無限へと向かう感覚を持つすべての人間によって、知られるまで見られなければなりません。それと同じように、人間もまた、自らの起源と未来の真の秘密を、いつの日か明らかにすることになるでしょう。

私たちは、いわば、この世に対しては死んだ者たちです。しかし、それでもなお、この世の一部であり続け、地上の状態と結びついている磁力の絆を、永遠に保ち続けます。私たちは、それを断ち切ることは決してできません。その絆は、より細くなり、その織物は地上の目には見えなくなるかもしれませんが。しかし、私たちは永遠につながっており、世界を改良する大いなる仕事の助け手となるのです。なぜなら、この世界は私たちの世界であり、そのようなものとして、私たちのものだからです。

たとえば私たちが他の世界を訪れ、そこに住み、その美しさに感嘆するとしても、この世界こそが私たちの故郷です。地球は私たちの母であり、私たちは永遠に彼女を祝福するでしょう。なぜなら、そうせずにはいられないからです。私たちの父は宇宙です。そして、私たちは、その父によって、またその父を通

して教育され、成長し、その父が明らかにしている驚くべき輝かしい真理を学んでいるのです。

私たちは地上を去る時、一時的に意識を失います。しかし、忘却の部屋から出て来ると、私たちは徐々に、美と光に満ちた輝かしい意識へと目覚めていきます。私たちの開いた目は、眠りから覚めるように開かれ、幼い頃に聞いた子守歌が、母の腕の中にいた時のように、愛と優しさに満ちてよみがえってきます。そして、すべてを静め、癒やすような影響が、私たちの存在全体に満ちていくのです。

私たちは、自分の状態を知りたいとは思いません。ただ、自分たちの周囲に漂う輝かしい光景や音に身をゆだねているだけです。その間にも、自分たちが力を取り戻し、回復が感覚のすべてに広がっていくのを感じるのです。

これが私の経験でした。そして、私は、多くの人々から同じ話を聞いています。しかし、人によっては異なります——ある者たちは、長い間、原始的な闇の中にとどまり、変化したことを理解できるようになるまで、霊の友人たちが絶えず努力して、彼らを助け、目覚めさせようとしています。

多くの者たちは、決して完全に意識を失うわけではありません。そして、自分たちの霊の身体から、物質的な構造が落ちていく変化に、ほとんど気づきません。そうした人々は、霊的に非常に目覚めているために、変化そのものに気づかないのです。長い間先に霊界へ行って待っていた霊の友人が、彼らに、この輝かしい世界へ移ったことを知らせるまで。

彼らは、地上にいた時にも、あまりにも自然に衣を着替えるように生きていたため、霊の身体は、肉体

の生命の構造に取って代わり、霊の衣を非常に優雅にまとったので、自分が変化したことに気づかないのです。それは、霊の友人たちと、その輝かしい周囲の様子によって思い出させられるまで続きます。

このように、地上で目覚めている人々は、肉体を持っている間に霊的になっているため、死後もそのような状態になるのです。しかし、すべての人がそうできるわけではありません。なぜなら、彼らは、それまでの状態によって、十分に整えられていないからです。彼らはあまりにも粗く、霊的な空気の中へ入り、その影響に満たされることができません。

地上全体を霊的な状態で満たすためには、肉体を持つ何世代もの生命が必要となるでしょう。

地球は、まだ原始的な状態にあり、まだ霊化されて

はいません。地球には果たすべき仕事があり、私たちが地球を霊の界層の空気の中へ迎え入れることができるようになるまでには、さらに何世紀も巡り続けなければなりません。

その時が来たならば、地球の住人たちは、人間同士の魂の真の関係を理解するようになるでしょう。そして同時に、霊界に住む存在たちのことも理解するようになるのです。

私たちは今日、この天上の題目を、真剣に、そして誠実に探究している人々に、私たちの愛と共感と喜びを届けるために集まりました。

そうです。私の愛する Washington と、その母も、今日はここに来ています。そして、彼らの夏の国の住まいから、祝福を降り注いでいます。そして、その美しさと現実についての私の描写を助けて

くれているのです。なぜなら、彼らの驚きも、私の驚きと同じように、限りないものだったからです。

私は、彼らの愛と助けの中で生まれ、私が見たすべての光景を通して、彼らによって守られてきました。

私は、地上に最も近い第一の界層の多くの場所を訪れました。そして、そこでは、住人たちだけでなく、他のすべてのものにおいても、大きな共通点があることを知りました。

ほとんどすべての者たちは、霊界へ入った最初の時に、この場所へ引き寄せられます。なぜなら、彼らはまだ地上の磁力を帯びており、そのため、当然ながら、地上に最も近い性質のものによって支えられる必要があるからです。

しかし、多くの者たちは、天上的な願いによって、より霊的になるにつれて、すぐにさらに高い界層へ引き上げられます。そして、その時には、自然な引力によって支えられなければならないのです。

より長くその界層にとどまる者たちは、地上へ戻るよう導かれます。そして、地上で身につけた習慣や好みを実現するために、人間を支配しようとしません。なぜなら、彼らはまだ感覚的、あるいは肉体的な状態に支配されているからです。そして、そうした物質的な結び付きから離れることができるのは、徐々にしかないのである。

地上のすぐ上にある第一の界層の霊たちが、自分たちは衣を着替え、地上の住まいから離れた存在になったのだと学び始めた時でさえ、彼らを次の界層に備えさせるには、なお長い時間が必要です。

多くの霊たちは、教育を受けるために地上へやって来ます。そして私たちは、地上で、闇の中でこの世を去った不幸な霊たちを教育し、解放するための正式な学校が作られる日が、それほど遠くないことを願っています。

私たちは、この最も輝かしい展開の中で、最も偉大な恵み——すなわち、この地上の向こうにある住まいについての知識——を伝えるという、壮大で気高い仕事をしているすべてのミディアムに、心から感謝しています。

そうです。住まいなのです。そして、なんと輝かしい住まいでしょう。そこでは、すべての友人たちが、一瞬の呼びかけによって集まり、互いに祝福と経験を与え合い、受け取り合うのです。

ああ、地上の友よ。あなた方は、この小さな球の上

にいて、肉体的な条件や気候の変化によって強く制限されています。そして、離れ離れになった時には、危険や苦労を経て、長い時を待ち、決められた時にしか会うことができません。

しかし、遠く離れた界層に住んでいるかもしれない愛する人々のことを考えてください。彼らは、あなたが思うだけで、たちまちあなたのもとへ来ることができるのです。そして、あなた自身もまた、望むなら、限りない界層へ自由に行く力を持つようになるのです。

ああ、これを知ることは、なんと美しいことでしょう。そして、それが永遠であること——あなたの愛する人々が、永遠に自由であり、永遠に生き、あなたと共にこの生命、この大きな喜びを見て、知り、楽しみ続けることを知ることは、どれほど素晴らしいことでしょう。

私たちが、地上の嘆き悲しむ人々が、愛する者の遺体を墓へ運び、悲しげに、静かに、その人を永遠に見えない場所へ置いてしまったのだと感じているのを見る時、ああ、私は彼らにこう言いたくてたまりません。

喜びなさい、と。なぜなら、その人の輝かしい霊は、今、あなたのそばに立っており、あなたの目の前の幕を取り払おうとしているのです。あなたが、その人を、その輝きと生命に満ちた姿のままで見ることができるよう。

そして、同情と愛を必要としているのは彼らではなく、あなたの方なのです。

彼らは、地上の生命の網のような重い覆いから解放されました。そして今、彼らは、天の王冠に輝く

星々よりも、さらに明るい銀色の光を放つ衣をまとっているのです。

私たちが地上へ戻るのは、人間に、生命をどのように用いるべきかを教えるためです——どのようにすれば、地上での生命をさらに有益で輝かしいものにできるかを教えるためです。そして、来るべき時代のために働くためなのです。

私たちが伝える知識は、この世界の喜びをより大きなものにし、霊の生命の冠に、さらに多くの星を加えるでしょう。

第三章

「これから私たちは第二の界層について話しましょう。そこへ行くのは、霊的なものを意識するようになり、自分を取り巻く霊的な環境の本当の関係を理解したいという、鋭く敏感な願いに目覚めた者たちです。

この界層では、すべてのものが第一の界層に似ています。ただし、より霊的で、より洗練された性質を持っています。生命に関係するあらゆるものがここにも存在し、それらは、この界層の空気の状態と、霊的人間の生命にとって必要なものです。

この界層も、他のすべての界層と同じように、絶えず一種の霊的な気を放っています。そして、その気は、さらに上の界層を支えています。この働きによって、下位の、あるいは動物的な生命は、必要に応

じて次第に薄れていきます。そして、上位の生命には、磁気を帯びた霊的な力が与えられます。それは、さらに洗練される過程を通り抜けて、その先の霊的生命を支えるのです。

そしてついに、霊は、動物的な生命から来るあらゆる栄養を必要としなくなるまで成長し、完全な霊的存在になります。その時には、霊は、より高い無限の世界の空気から反射して来る光によって、生命を与えられ、支えられるのです。

あなたは、人間が地上の状態から、より高い生命へと進んでいく、その大いなる成長の中には、必ず秩序があることを知らなければなりません。その過程では、第四の界層に至るまで、地上の物質的で化学的なものが豊かに存在しています。

しかし、そこに至ると、あなたは一つの変化を見る

ことになるでしょう。その変化は、再び化学的な状態を変えますが、存在そのものを変えるではありません。

そこでは、新しい光が与えられます。そして、新しい誕生——新しい霊的な誕生——を告げる新しい声が響きます。そこでは、物質的な状態に伴うすべての不純なものが、その入口で取り除かれます。そして、人は再び、見えない世界へと進み出るのであります。

そこでは、霊において清められた者のしるしを携えた、輝かしい存在たちが出迎えてくれます。そして、神の栄光の黄金の光が、地平線を照らし始めるのであります。

この界層へ導かれると、最も驚くべき、最も輝かしい光が、新しく生まれた霊に降り注ぎます。そして、それによって、感覚では決して想像することのでき

なかったものが、彼らに示されるのです。

ここであなたは、天使の音楽を歌うために集まった大勢の者たちを見るでしょう。

この界層から、あなたは、第五、第六、第七の界層へと、天使のような上昇を始めます。そしてついには、永遠の美の大海へと達するのです。そこでは、霊の王国の星雲の中に、次から次へと界層が広がっています。そして、そこには、生命の成就を、あらゆる界層と惑星において実現するために働いている、輝かしい霊たちの大群が集まっています。

第三と第四の界層には、働く者たちがいます。彼らは、地球や他の界層の空気を化学的に分析しており、やがてあなた方の地上にも、新しい力として知られることになる偉大な発見へ向かって、急速に進んでいます。

その力によって、私たちも、人間たちも、今存在しているような疑いや不確かさ——私たちが生命なのか、存在なのか、それとも幻なのかという疑い——を持つことなく、互いを理解できるようになるのです。

そうです。また、新しい惑星と、その周囲の星雲についての新しい発見もあります。それは、あなた方が今日、地上で互いに話しているのと同じようにはっきりと、あなた方の理解に向かって語る力を与えるでしょう。

私は、いつかこのミディアムを、私の界層へ連れて行くつもりです。そうすれば、あなたは天上の光景によって、私たちが書いていることが現実であること、そして、私より先に行った愛する者たちからの通信が、天上の住まいの真実の姿を描いたもので

あることを知るでしょう。

次の時には、私は、自分自身が見たことについて語りましょう。

私には、自分自身を、進むにつれて少しずつ明らかにしていくことが求められています。そうすることで、一つ一つの段階が、互いに結びつきを持つようになるからです。

それは、私たちが、一段ずつ苦勞して登っているという意味ではありません。そうではなく、地上での人生と同じように、私たちを前へと導いている真の原因を理解するためなのです。

あなたは今日、上の世界からの助けによって、一つの問題を解こうとしています。そして私もまた、あなたと同じように、はるか以前から先へ進んでいる過

去の哲学者や賢者たちから教えを受けています。
彼らは、教えを受けるためにやって来る子供たち
に、永遠の生命の書を読み聞かせているのです。

*毎日、筆記の後になると、ミディアムは、まるで妖
精の世界へ運ばれたようになり、自分が見たもの
について語っていました。

第四章

順を追って第三の界層の説明を始めると、私たちは、そこが地上のある場所、特に熱帯地方と驚くほど似ていることに気づきます。そこには、豊かな茂みや花々、美しい羽を持ち、優しい歌声で鳴く鳥たちがいます。

そうした光景の中には、高くそびえる山々があります。その頂は緑で覆われています。そして、その中には、美しい雪を頂いた山もあります。その純白で柔らかな羽毛のような美しさは、地上の雪に似ていますが、その質感は同じではありません。

桃色や薔薇色をした美しい花々が地面を覆い、その香りを放っています。その香りは、大気を、生きた存在のような芳香で満たしています。

この界層の一部には、町や村があります。そこには、真面目に働く存在たちが満ちており、地上でのように、自分たちの人生の計画を実行しています。彼らは、その界層の条件の範囲内で生き、行動することに満足しています。

ここには、大きな古い農園があります。そして、その風景や家庭生活は、とても現実的で、とても真剣なものです。そのため、私たちは、彼らの生活の中に入り、その営みに加わりたいという気持ちにさせられます。なぜなら、私たちは、自分を喜ばせてくれるものとの結び付きの中に満足と幸福を感じるのは、ただ状態の違いによるものに過ぎないと感じるからです。

建築は、熱帯地方のように素朴です。そのため、ここでは、多くの人々が、人間の心が思い描ける限り最も美しい木々の枝の下で、外の空気の中に住ん

でいます。

この界層は、地上の原始的な、あるいはまだ十分に成長していない子供たちのために与えられています。そこでは、それぞれの必要に応じて教育され、より高い界層へ進む準備をすることができます。

そして、その次の界層では、それぞれの好みや能力に応じて仕事を与えられます。その界層は、知性と技術の界層です。そこでは、人々は、科学や文学に関わる、より高い生命の交わりへ入る準備をします。

それぞれの界層は、そのさらに上の界層へ入るための準備の学校です。そこでは、人々は、待ち受ける栄光のために清められていくのです。

しばしば、第二、第三、第四の界層にいる多くの者たちは、知識を集めたり、自分の中に残っている不純な部分や歪みを捨て去るために、再び地上へ戻ります。なぜなら、それらが取り除かれなければ、彼らは霊的な光と生命の内なる聖所へ進むことができないからです。

ひとたび、霊の心の中に真の生命が目覚めると、人は自分自身の状態を感じるようになり、もはや他の霊に教えてもらう必要はありません。

人間は、肉体という覆いのために、自分の本当の状態を見ることができません。しかし、完全に生まれ変わった霊は、真の魂と、その放つ光を見ることができます。そのため、彼は、「正しいこと」や「善いこと」と呼ぶものについて、人間とは異なる見方を持っています。

善という言葉には、多くの意味があります。そして、それは形容詞であるため、「役に立たない善」のように使われることもあります。

犯罪者たちは、ここでは、その行いに応じて分類されます。すべての者は、それぞれの段階に置かれます。そして、その病は教育によって取り除かれるのです。なぜなら、私たちは、一般に罪と呼ばれているものは、心の病であり、それは生まれつきのものか、あるいは周囲の環境によって生み出されたものだと考えているからです。

ある者たちは、他の者たちをヒーリングする役目を与えられます。そして、他の者に欠けているものを回復させ、こうして互いを整えていくのです。あなた方は、罪によって病んだ生命が、医師の変化を待っている姿を見たならば、きっと驚くことでしょう。

彼らは、独房に閉じ込められたり、鎖につながれたり
はしません。そうではなく、自由な空気、美しい森
や野原に囲まれた輝かしい風景の中へ置かれま
す。そうすることによって、自分自身の内側にある
孤独や、自分に価値が欠けていることを感じるよう
になるのです。

私は、あなたを疲れさせてしまったかもしれませ
ん。しかし、地上の不幸な人々について、何かを語
る必要があると感じました。彼らもまた、神の大い
なる改革と、すべての者に与えられた普遍的な権
利の世界の中で、きちんと世話をされているので
す。

さて、私たちは第三の界層を離れ、第四の界層に
おける壮大な光景を開きましょう。そこでは、入る
資格のしるしを持って来た旅人、あるいは導き手に

連れられて来た者たちを、幸福そうな顔をした人々が待っています。そして彼らは、その驚くべき住まいへ案内されます。

そこでは、すべての光景が、より高い芸術、知識、科学の学校のために整えられており、そのため、この界層は、調べる価値のある最も興味深い界層の一つとなっています。

そして、ああ、その風景の広大さと多様さ、豪華な住まい、大邸宅、宮殿、塔、尖塔、神殿、大学、学校の壮麗さは、なんと素晴らしいことでしょう。

芸術と科学は、ここでは非常に発達しており、さらに他の界層へと伝えられる準備が整っています。

ここには、望遠鏡と天文台を持つ Herschel、電信を持つ Morse、蒸気機関を持つ Fulton、電

気を持つ Franklin、限りあるものを生み出す霊的な影像を扱う Daguerre がいます。

そうです。あなたは、彼らをここで見出すのです。そして、ちょうどあなた方の偉大な百年祭のように、ここは、地上のあらゆる収集物の住まいとなっています。ここでは、それらすべてが分類され、保存されています。

ここには、美術館もあります。Raphael と、世界に名を知られたすべての偉大な芸術家たちが、その作品を展示しています。

ここは、いわば、すべての界層のための実験室であり、仕事場なのです。また、他の界層からも、多くの美しいものや壮大なものが集められています。

地上の古い時代の芸術家や賢者たちは、さらに高

く、さらに輝かしい知識へ進む前に、自分たちの作品をここに残していったのです。

この、生き、働き、動き、知性に満ちた世界では、すべてが活気に満ちています。そして、新しい生命、新しい思想を、あなた方の世界へ送り出しているのです。

私は、これが、設計や芸術に関するすべての界層だと言っているのではありません。私が言いたいのは、こここそが、本当の働きの界層であり、多くの界層の住人たちが、物質的なものと霊的なものの本当の秘密を探究するために集まって来る場所だということです。

この界層の風景は、イタリア風であり、山々と壮麗な夕焼けに満ちています。その水は、光のように輝き、さざ波を立てています。そして、それは、大気

に、うっとりするような、生き返らせるような力を与えているのです。そこにあるものは、すべて生命に満ちています。

ここには、周囲の数多くの山々よりも、はるかに高くそびえる山があります。それは、観測の山です。その頂には、天文台があります。

曲がりくねった道を登っていくと、最も美しい緑が広がり、その中に、花々、木々、洞窟、泉、滝が、絶えず点在しているのが見えます。滝は、踊るように山のふもとへ流れ落ちていきます。そこには、美しい芝生が広がり、その中に、多くの壮麗なサークルや住まいがあります。

ここでは、森の静かな隠れ家や、周囲の風景より高くそびえる壮大で美しい住まいの中で、休むことができます。ああ、本当に素晴らしいのです。

最初、それは地上の山々を思い出させます。そのため、ほんの一瞬、私たちは、再び地上へ戻ったような気持ちになります。しかし、その風景は、地上のどんなものよりもはるかに優れているため、私たちは再び、自分たちが本当に天国にいるのだと感じるのです。

これらの隠れ家は、哲学者や芸術家のためのものです。実際には、永遠の生命という、壮大で輝かしい哲学を学ぶすべての人々のためのものなのです。

また、ここには、導き手に連れられて、旅人たちもやって来ます。そして、この壮麗な光景を見るのです。

この界層からは、知性ある通信が送られました。そ

して、それは何度もの試みの末に、ついに子供たちの耳に届きました。

イエスが言ったように、「小さな子供たちを私のところに来させなさい。そして、妨げてはならない。天の国は、そのような者たちのものであるからである。」

第五章

私たちの霊の生命のさまざまな界層を上って行く時、私たちはしばしば、その界層を取り巻く空気と溶け合い、それぞれの界層にある多くの、さまざまな光景に心を惹かれます。それは、それぞれの光景が、私たちの霊的な状態と調和しているからです。

私たちは界層を通り過ぎる時、しばしば地上と、自分たちが地上にいた時の状態を思い出します。なぜなら、霊の住まいの多くの光景が、それほどまでに地上のものと似ているからです。

私は前回、第四の界層が、進歩した生命の大いなる実験室であると述べました。

そこからは、多くの有益なものが、すでに地上へも

たらされてきました。そして、今後も、それを受け取り、その用途に適した知性ある人々に与えられるだけの準備が整うたびに、地上へもたらされるでしょう。

これから私たちは第五の界層へ進みましょう。そこには、より輝き、より霊的な空気があります。そこには、昔の詩人や賢者たちが住まいを築いています。そして、科学は、その熱心で靈感に満ちた働きによって立派に勝ち取った者たちに、月桂冠を授けています。彼らは、至福の生命の魅惑的な風景の中で、安らぎに満ちた住まいを得ているのです。

この界層には、透き通った水があります。その表面は、きらめく光によって輝き、美しさを与えています。その水面の上を、無数の存在たちが、天使のような美しさと優雅さをまとい、考えられる限りあらゆる形の乗り物に乗って滑るように進んでいます。

また、多くの者たちは、水面の下へ潜り、最も美しい花々の上に、またその中を通して差し込む日の光をつかもうとしています。その花々は、水晶のような美しさの中で、美しく咲いています。

多くの者たちは、あなた方の百合の花のように水面に浮かんでいます。そして、それらは建築的な美しさをもって見事に形作られているため、霊たちが、その香りに満ち、音楽のように美しい、小さな舟、あるいはゴンドラの上に浮かぶための乗り物となっています——私たちはそれを、海の花の巣と呼んでいます。

私たちはしばしば、それらの上に思うままに浮かびます。なぜなら、ここへ迎え入れられた者の幸福を傷つけたり、乱したりするものは何一つないからです。ここは、調和の界層なのです。そこでは、長い

霊的成長によって得られた優雅さと趣味によって、
住まいが整えられています。

それぞれの者は、自分を惹きつける住まいと交わり
を持っています。そして、それは魂に甘い平和を与
えています。

ある地域には、中央の遊び場のような場所があり、
楽しみのために設けられています。そこでは、合唱
する者たちが、美しい音楽を奏でています。

この花の香りに満ちた住まいの中では、美しい歌う
鳥たちが、その賛美と喜びの歌声を響かせ、疲れ
た者や楽しみを求める者たちを慰めています。

幼い霊の集団もまた、ここへ連れて来られ、この界
層の生命の大いなる家族のサークルの中で溶け合
うのです。

この界層では、雪花石膏や水晶でできた住まいを見ることができます。それらは、この界層に属していない霊にとっては、触れると霊的で繊細な物質に感じられますが、そこに住む者たちにとっては、はっきりとした実体を持っています。

その建築は、人間の想像をはるかに超えています。私は、これらの住まいの多くが、千里眼を持つ者の目によって見られ、聖書の時代にも語られていたことを知りました。

それは、天国であると考えられてきました。しかし、実際には、それはただ一つの場所に過ぎず、しかも第五の段階に過ぎません。

ここには、古代の偉大な賢者や預言者たち、そして現代の教師たちがやって来ます。ここは、

Washington、Paine、そしてその時代に名誉を受けたすべての人々の住まいです。

これらの高貴な存在たちは、さらに上の界層にも住まいを持っています。進歩した霊たちは、自分と調和できる場所であれば、すべての界層に住まいを持っています。それは、地上において、必要な時に応じて、さまざまな家を持つと同じです。

ある者たちは、太陽の光のように明るく、霊的で繊細な住まいを持っています。そこでは、そよ風が香りを運び、上の界層から届く魅惑的な音楽が聞こえて来ます。

彼らは何度も、さらに高い生命の存在たちと語り合い、しばしば、その求めに従って働くよう導かれます。

この界層は、上に住む者たちにとって、共通の集まりの場所となっています。そこでは、望む者は誰でも集まり、新しい考えや発見を述べることができます。そして、そこで提案されたことに対しては、深い関心が払われます。

そこは、事実が集められ、提示される場所です。そこでは、記録が取られ、さらに検討されるために保存されます。そして、それが解決され、認められると、そのふさわしい場所が与えられ、可能な限り実際に用いられるようになるのです。

*注記——Miss Jennie Leys は、サンフランシスコでの講演の際に、第五の界層にある Channing の講義室について語りました。それは、完全に霊的な雪花石膏でできた建物でした。内側の壁は、部屋全体を取り囲むように、次々と花輪が彫られていました。その花輪は、すべて固い雪

花石膏に彫刻されたものであり、それぞれの花輪の中には、美しい像が置かれていました。家具もすべて、同じ材料で作られていました。

彼女が千里眼によってこの建物を見た時、Channing は、約五百人の若い少女たちに向かって話していました。彼女たちは、多種多様な色の美しい服を着ていました。

こうした調査の間、すべてのことは、地上での科学的調査と同じように行われています。すべては細かく試され、後に用いるために保存されています。

そのため、Franklin は、今でも電気の力を研究し続けており、まもなく、自分の発見の新しい面を世界へ与えるでしょう。

また、Morse は、さまざまな電流を通して音を生

み出すようになるでしょう。それは、世界に、新しい段階の——電話のような——利益を与えることになります。

Daguerre も、なお考え続けています——なお、大気の色を変え続けています。そして、やがて、新しい発見の分野を生み出すことができるようになるでしょう。彼は、一年前に私に、いつか色彩を写真に写し取ることに成功するだろうと言いました。

地上にいる間に科学を発展させた者たちは、今でも、その利益のために働き続けています。

しばしば、この種類の霊たちは、新しい分野へ進み、すべての物質の神聖な原因を探し求めています。そして、彼らは、過去の作り話の多くを明らかにし、また、多くのものを残しつつ、なお分析を続け、偉大な真理の芽から不純なものを取り除いて

いるのです。

生命のあらゆる原子は、歴史に満ちています。それは、霊であれ魂であれ、あらゆる物質の粒子が、上の界層へ進まなければならないからです。

そのため、私たちはしばしば、自分たちの存在に関わる地上での結び付きを再び見出し、自分たちの生まれを思い出させられます。

いいえ、私たちは魂の目から逃れることはできません。なぜなら、それは常に私たちを見つめているからです。

たとえ、誰一人として私たちに会いに来なくても、私たちは知られているのです。なぜなら、地上のあらゆる粒子は、一つ一つ、霊の世界から来たものだからです。それは、自らの霊的な本質と共に変化

し、そして、再び変化し続けているのです。

存在するあらゆる原子は、絶えず一種の霊的な気を放っています。私たちは、それを、花の香りの中に容易に感じ取ります。千里眼を持つ者は、その物質的な姿を見るのです。

ですから、友よ、私たちは地上にいる時には霊であり、天国にいる時には人間であるのです。ただ、花が開くように、少しずつ広がり、この楽園の中で咲いていくのです。そして、完全なものとなるまで、自分の本質を差し出していきます。

その後、私たちは再び衣を着替え、さらに高く、さらに輝かしい成長へと進みます。そして、ついには、月の下にあるすべてのものが過ぎ去り、霊的な本質が、私たちの存在全体に満ちるようになります。

その時、私たちは、自分が完全に衣をまとい、永遠の進歩の岩の上に立つ準備ができていることを知るでしょう。そして、永遠の時代を通して、輝かしい住まいと、数々の惑星の界層を訪れるのです。

第六章

第六の界層へ入ると、そこにあるすべてのものは美しく、すべてが完全な調和の中にあるように見えます。ここは、十分に成長した霊たちの家族のサークルです。地上の子供たちはここで、最後の化学的な変化が第七の界層で行われる前に、休息の場所を見出します。そして、その変化は、彼らを完全な霊の身体へと備えさせるのです。

ここには遊び場があり、霊たちは、輝かしい光に満ちた空気の中で浴びています。そこには、草に覆われた芝生や天上の花々の中に、甘美な泉があります。また、深い森の中から、美しい歌う鳥たちが賛美の歌を加えています。その歌は、花々と香り高い苔に縁取られた草地を洗う、泡立つ流れと一つになります。そこでは、旅人は穏やかな休息の中に身を横たえることができます。

その水の上には、美しい白鳥や、さまざまな色をした鳥たちが浮かんでいます。そして、それらは、生きた美の絵のような光景を作り出しています。

ここには、さまざまな界層を通して来たすべての者たちのための、安らぎと休息の住まいがあります。そして彼らは、あらゆる心配から解放された安息の港を見出し、より高い使命のための靈感に満たされる準備をするのです。

もし私が、ここで、私の愛する Washington と、その母、そして私の子供たちが、私たちの愛する人々や、私たちの探究に共感している多くの人々を迎えるために集まっている、と言ったとしても、どうか私をうぬぼれていると思わないでください。

あなたは、この時までには、すべての者が同じ衝動

を感じたり、同じ神聖な力を理解したりすることはできない、ということを知っていなければなりません。人は、自分にとって現実だと思えるだけのものしか受け入れることができません。そのために、別々の住まいが必要なのです。

私の言う意味を理解してください。すべての者に、同じだけ理解する能力が与えられているわけではありません。そのため、さまざまな段階があります。

分かりやすく言えば、魂は容器のようなものです。あるものは一パイント入り、あるものは一クォート入り、あるものはほんの少ししか入りません。しかし、それでも、それぞれはいっぱいに満たされていて、それ以上は入らないのです。

ここでも同じです。ある者たちは、輝かしい宇宙の壮大で気高い力を見ます。そして、その壮大さによ

って、自分自身が満たされていくように感じます。しかし、他の者たちは、自分の欲求に合う、すべてのものの物質的な状態しか見ることができません。

後者の者たちは、魂の国において、ただ植物のように存在しているだけです。あなたは、そのような者たちを、自分が見たり、感じたり、触れたりできるもの以上のものへと奮い立たせることはできません。

彼らは、地上にいた時と同じように、界層の生命の中でも、一段ずつしか進みません。そして、新しい状態にしっかりと立っていると完全に確信するまでは、いつまでも前の状態にしがみついています。そのため、彼らは、自分を守ることを考え、神聖な力の靈感の中に身を委ねようとも、そこに安らごうとも思いません。

ここには、その動きがあまりにも遅いため、自分が

より高い状態へ向かって進んでいることを理解するまでに、何世紀もかかる者たちがたくさんいます。

そのような者たちのために、私たちは住まいと教師を用意しています。教師たちは、親切に彼らの世話をし、励ましています。

これらの住まいは、養護施設のようなものです。ここでは、彼らは養われ、守られます。また、そこには庭もあり、その中で彼らは力をつけ、それによってヒーリングされ、幸福になり、霊の世界の偉大な生命の真理の中を進んで行けるようになるのです。

第六の界層は、私たちが物質的な衣を、霊的な衣へと着替える場所です。そして、ここでは、私たちは、これ以上変化は必要ないように思えるほど、完全に霊的なものになります。

ここでは、他の世界から、調和の中で来ることのできる訪問者たちを迎えます。彼らは、美しい調和の中で賛美し、また、自分たちの住まいから、美しい花々や輝く宝石を持って来ることがよくあります。*

多くの者たちが、知識の世界へと私たちが上って行く時に、私たちを迎える準備をしながら訪ねて来ます。

ここにはまた、大学や芸術学校もあります。そこでは、第五の界層で完成へ向けて与えられた、あの壮大で美しい絵画や設計を、私たちが整えているのです。

*Mary Washington は、この第六の界層で、惑星 Vesta から来た霊たちの訪問について語っています。

やがて時が来れば、地上の宝物は解き明かされ、この世界に、キリスト教時代よりはるか以前、何千年も何千年も前に、すでに住民が存在していたことが証明されるでしょう。そして、その人々こそが、神の永遠の世界のより高い領域で、これほど進歩している者たちなのだということが、すべての人に示されるでしょう。

現在、私たちが、さまざまな界層を上って行く中で語っているのは、ここ数千年ほどのことだけです。

人が住むことのできる世界の、考えられる限りあらゆる生命の部分は、それらの異なる層の中に、本来備わっています。それらが異なるのは、それを形作っている物質の洗練の度合いだけです。なぜなら、それらは、私たち自身と同じように、地上の要素から生まれたからです。

そして、そのことによって、すべての界層は、磁気と電気力からなる、絹のような細い紐によって結ばれています。その紐は、私たちが神の界層、すなわち第七の界層に達するまで、すべてを結び付けているのです。

あなたは、本当に、Mr. Clarke や White としてそのまま、物質的な性質を持ち続けている、と言ってよいでしょう。あなたが第七の天へ入るまでは。そして、その時、あなたは完全に霊の身体をまといます。しかし、それでもなお、すべての生命の永遠の原理として、本当の個性と、互いを認識する能力は保たれているのです。

その時、開かれた天は、人間が知ることでできなかった栄光を明らかにするでしょう。なぜなら、人は、このさらに高い天、あるいは限りない霊の生命の

大海への鍵を持つまでは、それを知ることができないからです。

そこでは、あなたは、天使のような美しさに満ちた、底知れぬ宇宙の中へ漕ぎ出したように感じるでしょう。その美しさは、下の界層の住人たちが抱いていた、これまでのどんな想像よりも、はるかにまばゆいものです。

ここで、私たちは、神、あるいは無限なるものが、あらゆる高次の生命の、この広大で輝かしい姿の中に現れていくのを見出すのです。

ここでは、無数の天使の群れが、薔薇色の生命に満ちた輝かしい空気の中に漂っています。そして、あらゆるものの音楽が、宇宙全体に響き渡っています。

ここでは、清められた魂たちが集まります。そして彼らは、仕事を終えた者たちを導くためのしるしとして、光の星を受け取る準備をしています。ただし、その仕事とは、新しい光の自然な生命が、その魂の中に、音楽のような流れとなって突然あふれ出ることです。その時、光の上にさらに光が、下の界層へ送られるのです。

このようにして、知性は、太陽の光が地上に降り注ぐように与えられます。それは、人々を温め、生き生きとさせ、新しい光と生命を求めている者たちに、新しい憧れを燃え立たせるのです。

第七章

本当に、無限なるものの道を探し求めることには価値があります。そして、私たちは、時が進むにつれて、かつて物質の衣をまとっていた人間や霊的存在に対して、すべてが明らかにされるのだということを理解し始めています。

私たちは、「神の法則は人には知り尽くせない」という古い言葉は真実ではなく、また、神が、人間をその未来について混乱させ、神の輝かしい愛と優しさへの信頼を失わせるつもりなど、決してなかったのだということを知りました。

今、明るみに出されつつある出来事は、地上の子供たちに、自分たちの本当の目的と起源を示すでしょう。そして、どの科学者も、まだ本当の答えを持ってはいないということを示すでしょう。

生命の原理の真の秘密を明らかにする時は、まだ完全には来ていません。

Darwin の中には、多くの美しく示唆に富む考えがあります。そして、私たちの友人 Peebles については、いくつかの点で意見を異にすることを許していただきたいと思います。

しかし、人間の無限の存在や、生まれる前の状態について、長い間隠されてきたものが探究されているのを見ることを、私たちは非常に喜んでいきます。

これを説明するには、私たちはあなたを、地上の状態より前のところまで連れて行かなければなりません。そこでは、はるかに霊的な要素が、地上の物質に先立って存在していました。そして、それらの要素の本質は、大気の状態の中で混ざり合い、それ

が、人間の生命、あるいは霊的な意識を満たしていたのです。

私は今、人間の生命の本質について説明するつもりではありませんので、ここでは、これまで語ってきたこれらの界層に関係するすべてのものは、地上の存在と相対的な結び付きを持っている、ということだけを述べておきます。そして、あなたが第七の界層に到達するまでは、あなたは多かれ少なかれ、その影響の下にあります。

第七の界層から、私たちは、より高い状態へと変えられます。そして、この進歩の後には、どんな霊も、再び地上の空気の中へ入ることはできません。

第六の界層は、霊的な空気の振動で満ちています。それは、風に鳴る琴のようであり、波のように、靈感を高め、より高い生命から来る天使たちの言

葉を震わせています。そして、それらは、地上の人々への電報のような通信として受け取られ、保たれるのです。

このようにして、天使の群れは、音楽のような調べと、空気の振動によって、自分たちの愛と共感を伝えているのです。

より高い界層にいる天使の階級の霊が、第七より下のどの界層にも住むことは不可能です。しかし時には、彼らは、地上に近いところまで来ることを許されます。そして、ミディアムの力を通して、より高い世界にいる者たちの願いや希望を、人々に印象づけるのです。それは、救済者のような役割において行われます。

そうです。それぞれの界層には、救済者、あるいは指導者がいます。そして、人々は、その存在に向か

って、自分たちの願いを向けます。そして、その選
びは、すべての者の幸福を願う、多くの調和した合
唱隊によって助けられているのです。

私は、自分は界層の霊的な進歩について、ある程
度は理解していると思っていました。しかし、第七
の界層へ導かれた時、私は喜びの感情に圧倒され
ました。

ああ、なんという喜びでしょう——なんという平和
が、私の魂を満たしたことでしょう。私は、その最も
驚くべき霊の栄光の国の、本当の状態を理解した
のです。

至福という言葉では足りません——それは、栄光
に満ち、天上的で、神聖なものでした。

私は、周囲の輝かしい光景に驚き、見とれていまし

た。そして、青い光と栄光の中に浮かんでいるように見える天使たちの群れを見た時、私は、言葉にできない喜びの歌声を上げました。なぜなら、それらは、本当に実在する存在であり、空想の幻ではなかったからです。

やがて、ぼんやりとした幕は取り払われ、私は、すでに先へ行っていた自分の愛する人々を見ました。そして、彼らもまた、ここへ迎え入れられていたことを知ったのです。

私たちは、さらに高い世界へ飛び立つために、変化しました。ここでは、あなたの衣は、あなたが下の界層へ降りたい時に、自分で取り除くことのできる、その空気の状態に合わせたものとなります。

この界層へ入る時には、物質的な不純物は、すべて取り除かれます。そして、身体は、完全に純粹で

敏感なものとなり、この真に靈的な世界の、ごくわずかな変化さえ感じ取れるようになります。そのため、純粹な天使のような存在だけが、ここにとどまることができるのです。

この界層のある場所には、少数の訪問者だけが入ることを許されています。しかし、彼らは、特定の場所へ案内する導き手の役割を果たす靈の集団によって守られています。

しかし、内なるサークルには、決して近づくことはできません。そこは、生命の泉だからです。その本質は、宇宙全体の空気に満ちています。

ここは、科学的な探究をする者——真の魂——が、その研究から退いて、休息を見出し、無限の生命の魅力に満ちた空気の中に身を浸す場所です。そして、その空気は、彼らに新しい力を与え、惑星

の世界を通る研究を続けられるようにします。

そして彼らは、時折戻って来て、自分たちの調査を、科学の界層にいる記録者たちへ伝えます。そして、そこから、それは地上へもたらされるのです。

このようにして、友よ、私たちは、限りない世界の偉大な展開の中で、あらゆる要素が用いられ、何一つ失われていないことを知るのである。

あらゆる惑星には、それぞれの界層と、そこに住む霊的存在たちがいます。そして、彼らは深い知識を持っており、その知識は、時折、より低い生命の層に触れます。それは、一筋の光が、その照らす力によって、物を明るくし、生き生きとさせるのと同じです。

すべての世界、すべての惑星は、空気の中の光に

包まれています。そして、それらの周囲には、栄光の霧のような、美しい覆いがあります。それは、永遠の愛という大いなる力の、美しさと知性で、それらを包んでいるのです。

ああ、地上の愛する友人たちよ。あなた方は、この驚くべき、輝かしい住まいを、どれほどわずかしか理解していないことでしょう。

人間は、肉体的な条件に囲まれていることを、私は知っています。そして、そのために、人間は、神の永遠の愛についての、この壮大で崇高な知識の中へ入ることができません。

しかし、すべての者は、永遠の時の中で、その外側の衣を脱ぎ捨て、この魂を包み込む世界の、無限の知恵と力の普遍的なサークルへと導かれるのです。

第八章

地上の友人たちよ、私たちは再び、愛と励ましをもってあなた方に挨拶するために来ました。そして、あなた方がこれほど熱心に始めた善い仕事を続けるようにと伝えるために来たのです。

そうです。私たち——自分たちの経験を世に伝えた者たち——は、この仕事の終わりに再び集まり、これらの文章について知っていることを語るでしょう。

私たちは、あなた方を、普遍的な生命の大海の中に残して去りました。その泉は、あらゆる靈感と自然な流れから満たされています。そして、それらは、その生き生きとした、神から与えられた原理によって、すべてを満たし、生き返らせているのです。

おそらく私は、私より先に行った愛する人々ほど、さまざまな界層について、うまく、また心を打つようには語れなかったかもしれません。しかし、私は、一つの筋道が必要だと感じていました。それは、この展開している世界を、あなた方の理解と結び付けるためです。

あなた方は、人間として、物質的なものについての初歩的な段階を学び、それらに、美しさや役立つものという考えを与えてきました。同じように、私もまた、天上の界層についての私の描写を、かつて地上に住んでいた人々の霊にとって、住むことのできる状態として描かなければなりませんでした。

なぜなら、私たちは、生まれながらに備わっている生命と願いは、霊がさまざまな変化を経ても、それに従って行くと教えているからです。そして、多くの願いや憧れは、霊的な存在の調和した関係の中に

置かれることによって高められ、そのため、さまざまな界層へ進むにつれて、さらに美しく、さらに完全に育てられていくのです。

私たちは、霊的存在の第七の層にまで達しました。しかし、それでもなお、学ぶべきことはたくさんあります。

多くの者たちが、訪問者としてここへ来ています。しかし、彼らはここにとどまることはできません。なぜなら、彼らは、さらに先の世界へ進むのに十分なほど、知識の光によって満たされてはいないからです。

この空気の中から出て行く時、私たちは、不思議な感覚を覚えます。それは、眠気を生じさせ、私たちは、自分自身を失ったようになり、果てしなく、無限で、底知れぬ空間の中に漂っているように感じま

す。

私たちは、どこへ運ばれているのかを知りません。しかし、私たちのもとへ、子守歌のような不思議な音が聞こえて来て、「安らかに休みなさい」と告げるのです。なぜなら、永遠の生命と美の大いなる内なる界層の近くにいる善い天使たちが、私たちを守り、私たちの世話をしてくれるからです。そして、私たちが回復し、大いなる生命の都の領域にいることに気づくまで、見守ってくれるのです。

そこでは、碧玉の門が開き、天使たちは私たちを魂の神殿へ迎え入れます。そこでは、清められた霊たちから、永遠の賛美の歌が絶えず上がっているのです。

そうです、友よ。私たちは、最後の清めの中で、そのような住まいを持っています。そこでは、すべて

の者が互いを知り、理解しています。そして、言葉にできない喜びと、栄光に満ちた幸福が、すべての者によって味わわれています。

ここでは、労働は終わります。ここは、心配のない、普遍的な休息と楽しみのための住まいです。ここでは、自由で、完全で、限りのない愛が、すべての者を、その輝かしい現実へと目覚めさせます。

ここでは、すべての者が、自分の魂の本当の楽しみの中に身を浸すことができます。そして、それぞれの者は、自分に合った霊的な喜びへと引き寄せられます。

そこでは、多様さと調和が、絶えることのない宴となっています。人々は、それぞれの行動の界層の中で生き、それぞれの願いに応じて、楽しみの方も異なっています。しかし、それでも、すべては完全

な調和の中にあります。それは、野に咲く花々が、それぞれの美しい色を混ぜ合わせているのと同じです。

この界層については、ほとんど語られたことはありません。なぜなら、ここは魂たちの中心の太陽であり、上昇して来る界層からは遠く離れているからです。そして、準備のできた魂たちは、この碧玉の都へと連れて来られます。そこには、真珠が、ダイヤモンドや、あらゆる種類の宝石によって輝かしく飾られています。

ここは、昔の預言者たちが見た大いなる都であり、「新しいエルサレム」と呼ばれていたものです。彼らにとって、それは、ほんの一瞬の幻でしかありませんでした。そして、その場所がどこにあるのかを、はっきり説明することはできませんでした。

ここでは、天上の音楽が、一つの喜びに満ちた、調和した旋律となって響いています。

ここは、異なる惑星の住人たちが、それぞれの惑星の帯にある界層を旅し終えた後にやって来る場所です。ここは、完成したすべての霊たちのための宇宙の中心、あるいは太陽の中心なのです。そして、その額には、認識のしるしとして、昇る星が置かれています。

彼らは、時折、他の者たちを訪ね、その状態を観察することを許されます。また、他の者たちを、この広大で永遠の住まいへ備えさせるのを助けることも許されています。この住まいは、他のすべての惑星の世界から遠く離れています。そして、それは、最も高く、最も神聖な場所です。そこには、他の界層から清められたすべての粒子が集められており、そのため、ここは、無限の精神の、水晶のように純

粹な界層となっているのです。

ここには、霊的な宮殿や、壮麗な尖塔があります。そして、森の空き地では、夕べの賛歌が歌われています。そこでは、音楽と言葉を持つ花々が咲いており、人間には理解できない香りを放っています。

私の愛する地上の友よ。私は、このミディアムを、この地球に属する、知られている界層のさらに向こうへ連れて行きました。そして、人間の目がまだ見たことのない、どの惑星よりもさらに遠い、広大な空間を越えて連れて行きました。

そうです。永遠の住まいへ——その永遠の美しさは想像することもできず、言葉では表せない惑星へ連れて行ったのです。しかし、それは確かに存在しています。

そして、神、すなわち普遍の父は、そこにいます。ただし、形を持って存在しているではありません。神は、清められた魂たちを通してのみ現れています。その魂たちは、創造されたすべての力の中で、最も高く、最も純粋なものを集めているのです。

ここには、無限の精神が集中しています。そして、この中心から、すべての知性が、他の惑星や世界へと放射されているのです。そこでは、導き手たちが常に、真理と知識の力を導き、結び合わせ、それをさまざまな惑星へ広げています。

私たちが、世の人々が死と呼んでいるものについて考える時、私たちはすぐに、彼らを、その本当の状態に目覚めさせたいという願いに満たされます。そして、彼らを、その輝かしい未来についての本当の知識へと呼び覚ましたいと思うのです。

私の愛する Washington と、その母は、この天使のように美しい魂の世界へ、私を導いてくれました。そして、その助けによって、私は、このミディアムを、この崇高な壮大さと調和させることができたのです。

そのため、私は、かつて靈感を受けて、美しく書き記した人々に幻として与えられたのと同じ世界の現実を、語ることができます。そして、その人々は今では、この永遠の生命の魂の世界の住人となっているのです。

彼らは、真の神を、普遍の父として礼拝していました。そして、正直で、純粋な思いを持っていたために、彼らには、天国と呼ばれるこの幻が与えられたのです。そこでは、すべてのものが、美しさの中で輝き、その黄金の光は、神、あるいは無限の力から生命を受けて、全体に広がっているのです。

この魂の世界は、すべての惑星の磁気の輪の外にあります。そして、それは、それを満たし、包んでいる空気の中で回っています。

また、この世界は、すべての惑星が、その洗練された霊的な気を放つ時に生じる、磁気と電気の帯によって支えられています。

霊たちが、惑星からこの魂の世界へ向かう時、彼らは、まるで、この永遠の生命の中心の世界へ直接流れ込む大きな海流のような、磁気の生命の流れによって支えられています。

ひとたび、その流れの中に入ると、霊は、とても穏やかに運ばれます。そして、甘い音楽の調べによって包まれ、他の土地から遠く離れていることへの不安や、見知らぬ場所への恐れは、すべて消えてしま

います。

また、付き添いの者たちも送られ、霊を導きます。そして、ついには、最も神聖な場所へと連れて行かれるのです。そこでは、まばゆいばかりの美しさと壮大さが、魂を驚きと畏れで満たします。その魅惑的な光景を前にして、あなたは、完成した生命を持つ、輝く天使たちの前に、ひれ伏して礼拝したくなるでしょう。

そして、その天使たちは、あなたを、賛歌と愛の中で休ませてくれるのです。彼らは、あなたを深く愛し、とても優しく世話してくれます。

そして、私はここで休むことにしましょう。

(終わり)

